

## 政策評価調書(元年度実績)

政策名	女性が輝く社会づくりの推進	政策コード	Ⅱ-7	関係部局名	生活環境部、福祉保健部、商工観光労働部、教育庁
-----	---------------	-------	-----	-------	-------------------------

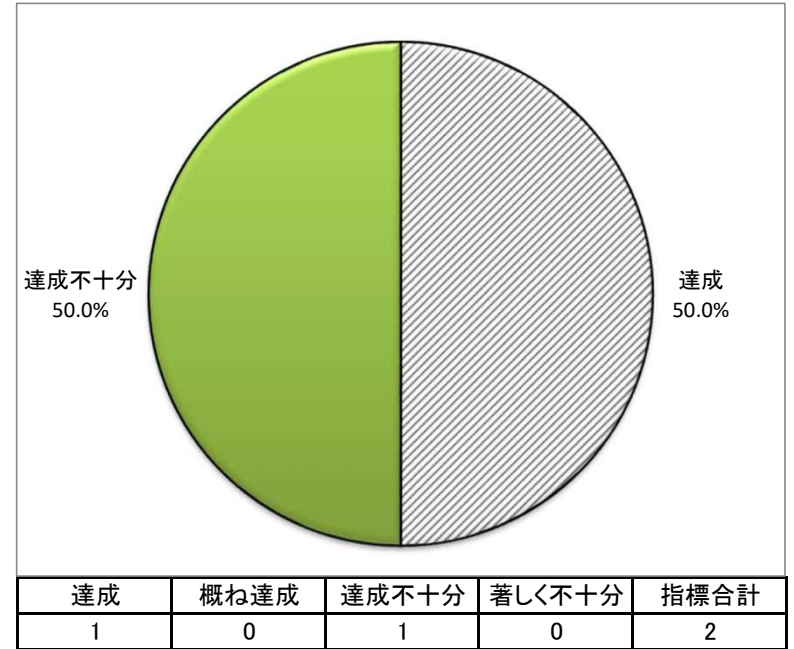
### 【Ⅰ. 政策の概要】

働く場をはじめ、あらゆる分野での女性の活躍を推進するため、固定的な性別役割分担意識など、女性が感じる生きづらさを解消し、男女がともに責任を分かち合う環境づくりを進めるとともに、安心して子どもを産み育てながら働けるよう、官民が連携して柔軟な働き方の導入や職場環境の整備などを行い、すべての女性が輝き活躍できる社会を目指す。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	女性の活躍推進と男女共同参画社会の構築	概ね達成	A

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

人口減少が進む中、女性の社会参画が一層求められている。女性の就業率は全体的に上昇しているが、第1子出産を機に女性の約半数が退職するほか、介護や看護で離職・転職する人が毎年約10万人おり、その約8割が女性であるなど、出産、子育て、介護等を理由に就業を中断する女性が依然として多い状況がある。

その要因として、「男は仕事、女は家庭」という意識が根強く存在し、夫の育児・家事の負担が格段に少なく、妻に負担が偏っていることが考えられる。また、税制や組織のあり方は、専業主婦世帯をモデルにした例が多く、社会情勢の変化に応じ、働き方の見直しも含め、対応していく必要がある。

そのため、社会のあらゆる場面において、固定的性別役割分担意識の解消を引き続き図りつつ、女性の継続就業が可能となる働き方の導入や、働きやすい職場環境の整備を進めるとともに、スキルアップをしたい女性への支援も必要である。

また、民間企業等における管理職に占める女性の割合は上昇傾向にあり、女性活躍推進宣言企業数も増えているものの、女性の管理職候補や女性管理職のロールモデルが少ないこともあり、まだ十分とは言えない。

女性は地域や各種団体などにおいて様々な活動を担ってきたが、地域の活力を支える人材も不足しており、この分野においても、さらに女性の参画を進めていく必要がある。

### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—